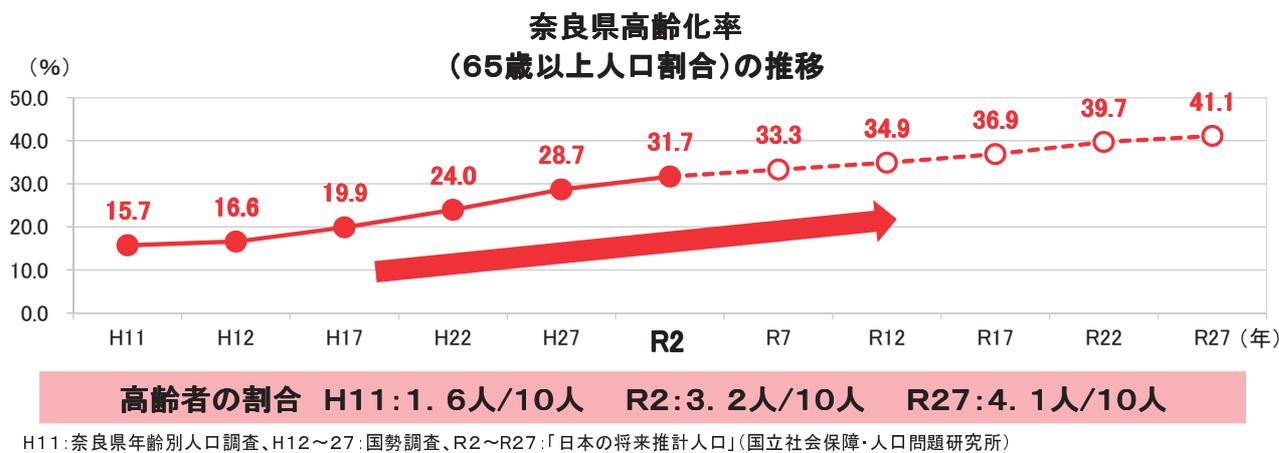
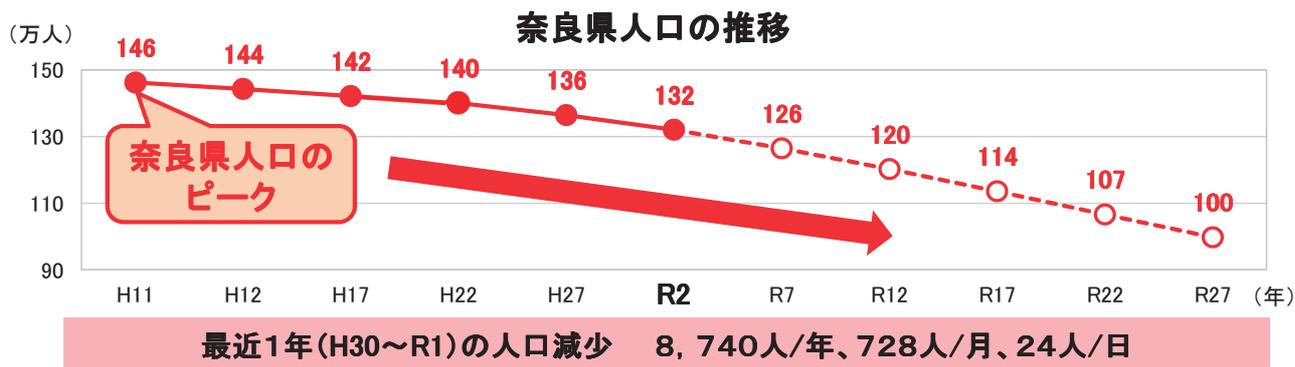


奈良新『都』づくり戦略2021

- I 栄える「都」をつくる
- II 賑わう「都」をつくる
- III 愉しむ「都」をつくる
- IV 便利な「都」をつくる
- V 健やかな「都」をつくる
- VI 智恵の「都」をつくる
- VII 豊かな「都」をつくる
- VIII 誇らしい「都」をつくる
- IX 爽やかな「都」をつくる

奈良県の立ち位置を確認

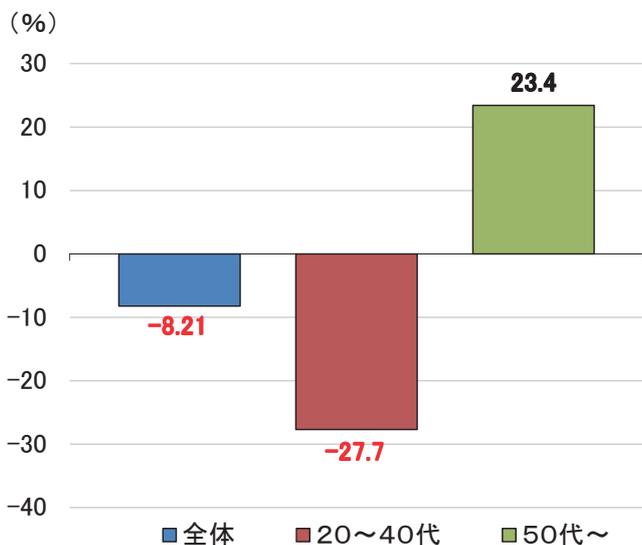
1. 奈良県の人口は急激に減少、急速に高齢化(ベッドタウン現象)



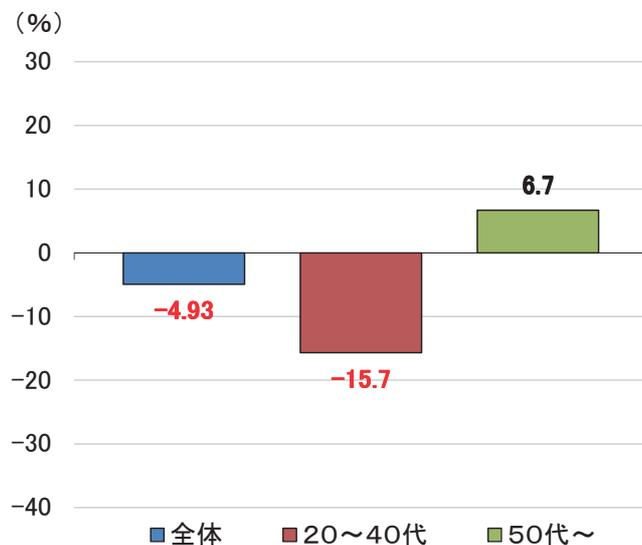
H11:奈良県年齢別人口調査、H12~27:国勢調査、R2~R27:「日本の将来推計人口」(国立社会保障・人口問題研究所)

①奈良県は若者の人口減少が著しい

過去20年間の人口の減増率 H12~R1



過去10年間の人口の減増率 H22~R1

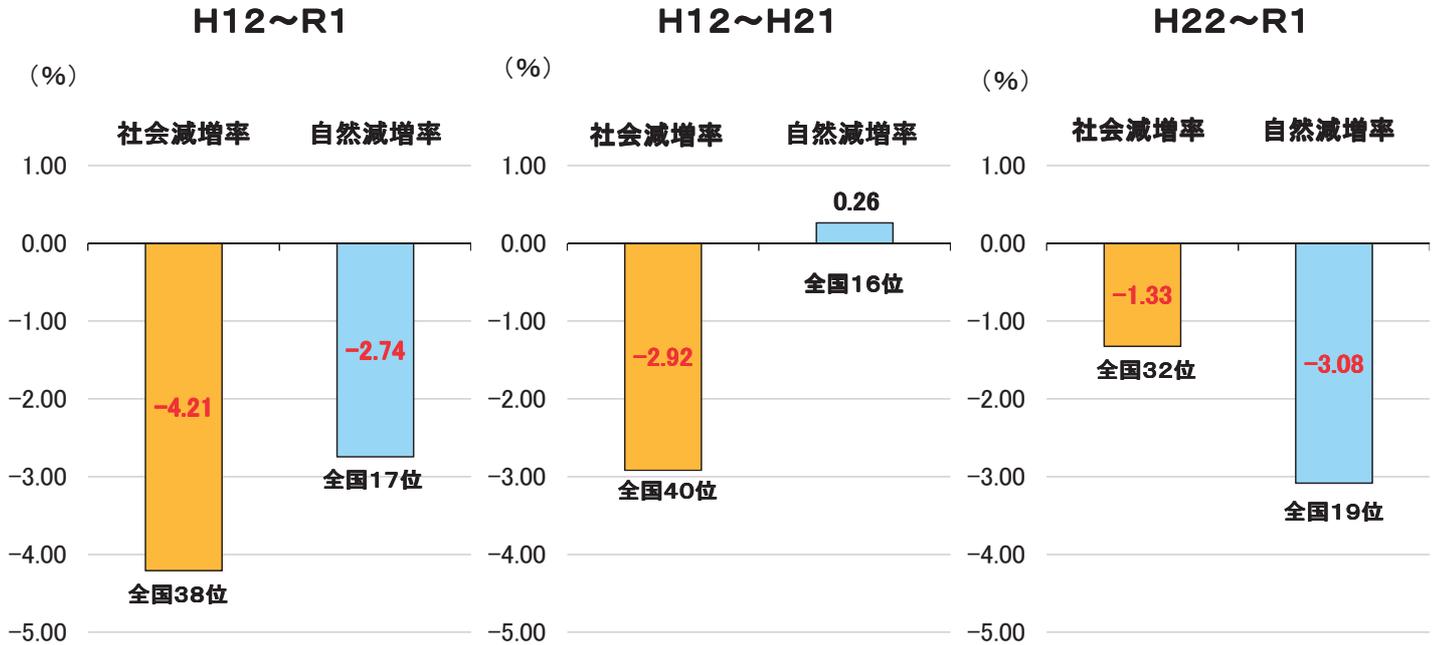


人口推計(総務省)

②奈良県の人口減少は社会減が大きい

過去20年間の人口の減増率

過去10年ごとの人口減増の比較



住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査(総務省)

2. もう少し伸ばしたい全国順位 さらに上位を目指したい全国順位

もう少し伸ばしたい全国順位

さらに上位を目指したい全国順位

経済

- ・旅館・ホテル客室数 47位
- ・県内消費率 47位
- ・小売業事業所数 (人口1万人当たり) 41位
- ・就業率 (15歳以上人口に占める就業者の割合) 47位
- ・農業産出額 45位
- ・都道府県管理道路の歩道整備率 45位

- ・工場立地件数 8位
- ・有効求人倍率 26位
- ・管理的職業従事者における女性の割合 25位
- ・貯蓄現在高(総世帯1世帯当たり) 1位
- ・世帯主の勤め先収入 (勤労者世帯1ヶ月平均) 10位

健康福祉

- ・胃がん検診受診率 39位
- ・子宮頸がん検診受診率 42位
- ・健康寿命(女性、65歳平均自立期間) 24位

- ・健康寿命 (男性、65歳平均自立期間) 3位
- ・障害者雇用率 1位
- ・がんの75歳未満年齢調整死亡率 4位

文化スポーツ教育

- ・県内大学入学者における県内高校出身者の割合 44位
- ・社会体育施設数 36位

- ・スポーツに取り組む人の割合 8位
- ・芸術・文化を行う県民の割合 5位

衛生行政報告例(厚生労働省)、障害者の雇用状況(奈良労働局)等、各種統計資料より抜粋

3. 奈良県政のこれからの主たるテーマは

1. 県内で育った人に県内で働く場を確保
～県内で育ち働く、人の循環を～

5. 健康で愉しく一生すごせる奈良県に
～健康寿命日本一に～

2. 生活に、観光に自然歴史文化資源を活用
～住んで好し、訪れて好しの奈良県に～

6. 生涯よく学び続けられる地域に
～よく学んで奈良を楽しむ～

3. 新旧世代に住みよく、まちをリニューアル
～一粒で2度おいしい奈良のまちに～

7. 農村・森林を大切に
～奈良の自然を敬う～

8. 南部・東部を元気に
～南部・東部振興は県政の本務～

4. 遅れている交通基盤を充実
～道路を良くし、奈良に賑わいを～

9. 行政サービスを効率的に進める
～奈良モデルで行政資源を総動員～

奈良県の力を奈良県流儀で底上げを図る

1. 県庁組織の活性化



2. 奈良県戦略に県内行政資源総動員

戦略の構想(デザインング)

- ①統計重視(データを収集・分析、エビデンスをもとに考える)
- ②まず学ぶことから(世の中の知賢に頼る、智恵の托鉢)
- ③頑張る市町村を助ける(市町村のイニシアティブを尊重)
- ④ターゲティング(目標を定めゴールを選択する)

戦略の策定(プログラミング)

- ①現場重視(現場と接触し現場感覚強化)
- ②プロセス重視(関係者と目標共有、行動共同)
- ③奈良モデルの実行(市町村と力を合わせる、国の力を借りる)
- ④スケジュールリング(ゴールインの日までの行程を明確にする)

戦略の実行(インプリメンテーション)

- ①選択と集中(優先順位を定め勢力を結集する)
- ②失敗を恐れない(リスクの前に立ち止まらない、困難を糧に失敗から学ぶ)
- ③人材(財)を育てる(仕事から学び生涯世の中の役に立つ人を育てる)
- ④常に改善(プロセスをモニター、結果を検証し改善点を発見・実行)

3. 地域の行政資源(人材)を総動員する(奈良モデル)

県の役割のイメージ

- ・国にお願いする(陳情)
- ・国の力を借りる(予算、助言)

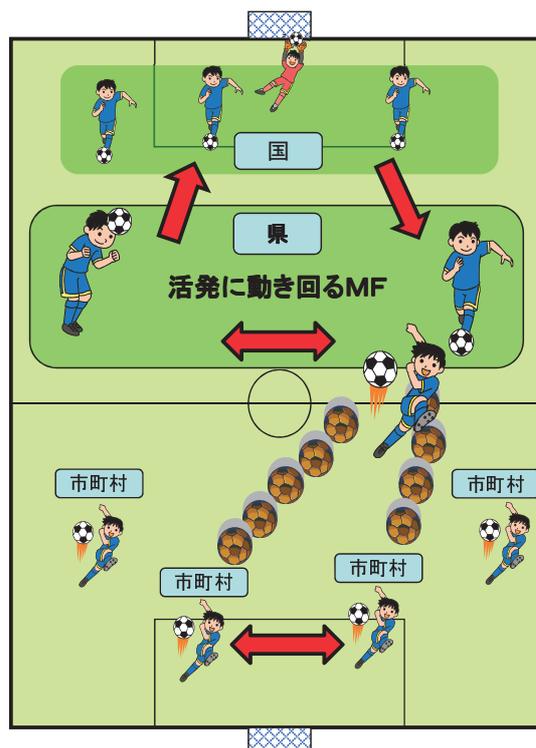
県の役割

=賢く考えてよく走るMF

- ・庁内の横パスによる連携
- ・市町村へのキラーパスによる支援

市町村も頑張ってゴールを

- ・市町村間の横パスによる広域連携



データ収集分析

よく考えるスコアラー

ピッチ外で考える人も必要